

2011~2012年度 IM第6組報告

大阪-淀川RC 会長 津本清次
I.M. 実行委員会 委員長 杉本忠博

テーマ：「環境とエネルギー」
ホスト：大阪-淀川ロータリークラブ
開催日時：2012年3月10日 13:00~17:00
開催場所：ホテルグランヴィア大阪 名庭の間
登録者数：242名
出席者数：165名

今回のIMは、テーマを「環境とエネルギー」とし、JT生命誌研究館館長で著名な生命学者、かつ環境について高い識見をお持ちの中村桂子氏に、第一部の基調講演をお願いしました。

中村氏は、環境（Environment）とエネルギー（Energy）に、経済（Economy）を加えた三つのEを一体として捉えて解決を求めること、視点を変えて考えてみるのが肝要、と説き起こされました。

そして、人間を出発点とすること、人間は自然の一部であり、環境は人間など生き物に関わるものとして、自然の持つ力を生かした新しい科学技術や社会システム（経済）を構築していくべきであり、これからは「ほんとうの豊かさの中でのほんとうの幸せ」を追究すること、すなわち、食物（農業・水産業）、健康（医療）、住居（林業）、知（教育）、環境（特に水と緑）が重要であり、地産地消型産業や地域の自然・文化を活かした生活が要諦と述べられました。

第二部のパネルディスカッションは、「地球環境保全とエネルギー需給の両立をめざして」と題して、中村桂子氏がコーディネーターとなり、まず大阪大学大学院工学研究科の下田吉之教授が、都市（需要側）からみたエネルギーシステムについて、次いで近畿大学建築学部の岩前 篤教授が、住宅からみたエネルギーシステムについて、そして関西電力執行役員 大阪北支店長で当クラブ会員の岡田雅彦氏が、今後のエネルギー供給の課題について、それぞれ学会、産業界の最先端の知識・情報をもとに自説を述べられました。最後に中村氏が、改めて自然と文化を大切にする社会の価値を訴えて締め括られました。

限られた時間のなかで高度な意見を聞くことができ、中途退席者もほとんどみられない充実した勉強会となりました。

